

NUDAN COLOR CONTROL PATCHES

© The Tiffen Company, 2000

LICENSED PRODUCT

Blue 1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Green 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Yellow 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Red 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Magenta 12 13 14 15 17 18 19
White 14 15 17 18 19
3/Color 17 18 19
Black 19

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



坂東 鉄父
西園 順徳
行状記

ル 3
3280



0 1 2 3 4 5 6
10
JAPAN
Tejima

ル 3
3280
門 券

昭和十六年一月十一日
尼野貴英氏 贈

順禮 記序

史明孔の始りいふこと

のこし終りいふこと

始りいふこと

のこし終りいふこと

史明孔の始りいふこと

のこし終りいふこと

史明孔の始りいふこと

のこし終りいふこと

史明孔の始りいふこと

原ひらき舞ひよの如き
 龍宮のしるも家十秋年
 唯れり権成龍
 懐せられしと書し
 本その一平基と書成志和
 亦成加へある内事
 乃候りあると
 様しよ書す

龍暉房居士徳

序目一

觀音順統記目錄

- 一七々々んがんの像
- 一同以めん日
- 一同去んごん
- 一おめんれいの十とく
- 一納れのつきや
- 一後法りの仕立や
- 一うさの事身仕や
- 一れうの時め文
- 一同口誓言の偈
- 一在るい奇
- 一國郡也
- 一山号寺ごう

- 一 凡ゆるんぞん
 - 一 同 凡ゆるんぞん
 - 一 開基の歴代
 - 一 開祖の凡ゆるんぞん
 - 一 寺に飛けんまう
 - 一 宗の凡ゆるんぞん
 - 一 山家下ち凡ゆるんぞん
 - 一 凡ゆるんぞん
 - 一 有次ち凡ゆるんぞん
 - 一 山川坂の凡ゆるんぞん
 - 一 凡ゆるんぞん
 - 一 凡ゆるんぞん
- 同縁之終

十七日
凡ゆるんぞん
千手觀世音



真言
凡ゆるんぞん
字は凡ゆるんぞん

聖ちやう觀世音くわんせいおん



有矣之言

んあろつしやえまの
字列にせぬ死に

馬頭觀世音ばとうくわんせいおん



んあろつしやえまの
字列にせぬ死に

日十二

十一面観音
おんじつちめん



百七言

字正
おんろけいせんからるる

日一廿

准胝観世音
おんてい



字正
おんろけい
字正
おんろけい
字正
おんろけい
字正
おんろけい
字正
おんろけい
字正
おんろけい

日二廿

如意輪觀音



有真言

字なりんごめり

日三廿

不空罽索觀音



字なりんごめり

おもんねいめすし

一うよハ三あくだらにまよつぐ

二うよハつんぢうぢぢう物んぢり

三うよハおもんねい一うの家の

ハ志うぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

四うよハ七うんおんのがんどぢぢ

ににすぢぢぢ

五うよハぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

六うよハ志うんぢぢぢぢぢぢ

七うよハ志うぢぢぢぢぢぢぢぢ

るんぢぢ

八うよハぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

九うよハぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

十うよハ志うぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

札巻は多量の徳也

奉納秩父三十四所 爲何ぢぢ

年号月日

願主

南無慈悲大悲観世音菩薩

年号月日 同行 何人

北越 奉順禮坂東三十三所

國郡郷名 名

おびづらハさしし白布深ぬのいぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
まぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ



此の山は...
 西国禮札...
 何行...

礼の山の時どあつた文

種々重罪五逆消滅

自他平等即身成佛

南無大慈大悲觀世音菩薩

具一切功德 慈眼視衆生

福聚海無量 是故應頂禮

西國禮札

○そごんきめふあちん

あちのあふわくあははせ

紀列年婁郡 那智山青岸渡寺

かそ一スニ寸のああらん

わんあんだんあらん

紀之井さへ之ハリ

あち山かこくらハ

こくらあふり

うけ川を本家、十八丁
川あり 本家のあきあき

本家のあきあき

あきあき

湯はが三本あり、わらわら

あきあき

あきあき、あきあき、あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき、あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

びく次清いしが清くを田川

ふる京のくも吾、一うま
よりうほと下りふす下り

も吾の存あり、一う
徳本村の清く下り下り下り

存ありのきき井あり、一う
中回村 日蓮村 くらへ村

○二をんきぬくふさくぬで
つらととくくくくくくくく

くまのくまもくくくくく
月名草郡

補陀洛山護國院令別室寺
いそふ一尺二寸の十二面 きて八南

向威光よりいき、そ時法師
のらんつら、こくもくハリ

徳三井ちかけりふ、一う
これよりわがま、ぬの

わがまのハけんや、一う
ハけんや、いそで、一う

いそで、こくもく、一う
きあ、川、あり、一う

○三をんきぬくふさくぬで
又くめ、終ぐも、きこくも

や、いぬ、く、い、ぬ、り、さ、く、ぬ
同那賀郡

補陀洛山杉川寺
むさせんぢぢぢぢぢぢぢぢ

る、七、ろ、南、向、新、く、大、交、れ、子、お
室亀元年建立、徳念ち、あり

こくもく、さ、る、み、下、一、十八ヶ
る、さ、川、あり

る、さ、く、ひ、ろ、は、一、二う

ふみろに十八世のいそまん所
ひろにふたつ、一
らありしうんぶよこ

ぬつ、まのめか、二つす
三書作 徳川 泉列に列の徳

○はむん、つごのまのめか
えんぢぢい、つね、まけり、を
まのめか、つご、はむん、いそめ

和泉 泉郡

植尾山仙栄法施極寺

○はむん、つごのまのめか、二つす
えんぢぢい、つね、まけり、を
まのめか、つご、はむん、いそめ

菟井寺、七

まのめか、あめ、の、二つす
つごのまのめか、二つす

○まのめか、あめ、の、二つす
つごのまのめか、二つす

江戸園

葛井寺

いそまん、二つす、の、せん、め、を、保、つ、ん
り、ん、ど、う、つ、ご、の、依、り、を、保、つ、ん
い、そ、ま、ん、つ、ご、の、依、り、を、保、つ、ん
い、そ、ま、ん、つ、ご、の、依、り、を、保、つ、ん

江戸園

まのめか、あめ、の、二つす

つごのまのめか、二つす

たのめか、あめ、の、二つす

つごのまのめか、二つす

たのめか、あめ、の、二つす

竹内町子内、ニ
それより奥へ入る

山内町子内、ニ

とさふつがさり、十八

○七をん、やまの法がさ

いふ紙たてし、いさあしてつがさ

ふいのい、いこのむ、いさあして

和列、市郡

上壺坂寺

なると一丈六へめせん、由元王

帝のい、うた、基上人、い、き、ま、

八、う、う、作り、兵、兵、兵、兵、

兵、お、く、の、院、小、石、め、え、え、え、え、

お、う、で、い、い、い、い、

○七をん、やまのめがらで

けい、え、れ、バ、つ、も、お、う、で、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

月市市郡

東光山龍蓋寺

い、い、一、丈、六、へ、め、せ、ん、の、い、い、い、い、

兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、

兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、

兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、兵、

每、武、日、一、年、一、回、

お、う、で、い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、

お、う、で、い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、

○八をん、やまのい、い、い、い、

ついでひまわりくはるるせせし
ふもつらふしめりさたふ川

同 城上郡

豊山神ふはせ首寺

いそ二丈六尺の土面の墓の作
延喜四年に任及上人供やう 寺ハ
七石に面南向ち能く石

南東だうし

とせ せり、二り

三り せり、二り

たんをるおびとき、二り

おびときかき、一り

○九丈八尺の土の墓だう
ちのせはるるんたふくやきて
みうされやまふらうすすも

同 南都

南園寺

本寺一丈六尺不空けんそく八層
二月弘仁四年をがくすしの
ういき 寺ハ八角作り 深陸を
嗣えり、二むる戸、七り

さう せき、一り

まの門えんけいふんおき

本寺 せき、一り

まげ川

おつれ せき、一り

まげ川 せき、一り

せいけ せき、一り

本寺 せき、一り

○十丈八尺の土の墓だう
ちのせはるるんたふくやきて
みうされやまふらうすすも

山形 寺名郡

明日香山 三聖寺

本尊 一人二寸のせんにあめんが
だんごんのあけいけん光仁帝の御
尊像 大一のくまの上のたごころ

六むろよふ六むろころ

六むろころ下のたごころ

下のたごころ上のたごころ

○十一 あまのうらたごころ
きんぐあんにしんごころあめんが
あめんがのたごころあめんが

同 寺名郡

淡路 山上 礎礎寺

本尊 二人の二寸のあめんが
たごころ 帝朱雀帝 村上天 二代の
あめんが あめんが 傍正のくまのちん

四十 ねい 二寸のあめんが

だいごころい 二寸のあめんが

○十二 せんあめんがのい 二寸の
あめんがのい 二寸のあめんが
きしんごころあめんがのい

同 寺名郡

岩間 寺 正法寺

本尊 四寸のせんにあめんが
の像 小のあめんがのい 二寸の
あめんがのい 二寸のあめんが

い 二寸のあめんが

○十三 せんあめんがのい 二寸の
あめんがのい 二寸のあめんが
あめんがのい 二寸のあめんが

同 寺名郡

石山 寺

不毛一丈六尺二臂のほろろん
天平勝室七年小孝隆帝の草一
割をばりて武平の宮に置るは赤
は師といきちり五尺七十九石

二并ちち二り

石山ヶぞぞ、 九二丁

せこの村ありしが京小義平が墓を

ぞぞ ~~せこの村ありしが京小義平が墓を~~

○十四をん、大佛のこわぞい

いでりやるまの月いこわぞいの

こひめむぎあわらるるけいふ

同志賀郡

長等山園城寺南院

いさる五人二寸のふよあつらんを

ちくそ子の作教持付仲のういき

せ八十石にむらちをきり大一の達

つら

三并ちち今終りせく三丁

あこせに越つてあつたる

○十五をん、ちふのいまらぬの

むいしりたのともあつたがぬれ

かまけのちちふあつたる

山列に伊郡

今終り

なま一尺五寸の十一面弘法大

の作せは七石に面南向月作の

ちんつら

今どまの法あり、 三丁

このろ大佛 三十二万をきと

○十六をん、ちふのきよき

ちるせやあつたのたのきよき

むいしりたのちちふあつたる

日慈父名郡

三白羽山清水寺

本寺八人のせんじゆえん帝
の御宇宝龜十一年に法華創多ん
らん江原のふさ、并に七十七の御宇
同二年田村をらんま吉原百廿五
町の院せんじゆえんせん

きよあめがたきよあめがた、ハ

○十七せん、京の六せん、た
りくも、はのつ、いふあ、ド
さう、たう、小ま、り、あ、れ、え

日

六波羅蜜寺

いそ一丈の十二面、空や上人のさく
村上帝天、五十年、や上人建立
并に五十四の、二、七、七、七

六、く、か、さ、く、ハ、キ、二、

○十八せん、京の六、く、だ、り
り、お、り、ふ、の、ち、ら、ハ、む、の、か、ど
き、ま、あ、れ、と、い、の、ち、あ、り

日

六南堂 頂法寺といふ

いそ一寸八分の、い、あ、ん、一、人
守の、係、中、ハ、こ、む、あ、り、く
そ、の、ら、ん、ハ、六、南、作、り
東、向、ち、り、一、人

六、く、か、さ、く、だ、り、ハ、キ、二、

○十九せん、京の、あ、り、だ、り
あ、り、て、あ、り、の、ち、も、う、だ、り、の
あ、り、の、ち、が、さ、り、さ、り、ん

日

革堂 けいどう寺といふ

かきハスノせん一ノ条は
寛仁二年の事と云ふに
ついでに二十五年
改元

東の...
...
...

○二十...
...

日乙...
...

改元...
...

かきハスノせん...
...

あま...
...

○廿二...
...

丹波...
穴穂寺

ある...
...

くふ...
...

○廿二...
...

わづかのらうひなのまぬいさし

甲国 鴻下郡

善光院 洛山 惣持寺

なまごころのせんじゆのまきまき
寛平二年山陰中納言のちか
はゆふいごころのまきまき

勝尾寺 二つ

そごちちか

こゆりふかちちか

小川ちのやり取さし

○たごんごつのおくらおびり

おししつごつのおくらおびり
おしつごつのおくらおびり

同豊鴻郡

慈天山 清尾寺

なまごころのせんじゆのまきまき

いさぎよのせんじゆのまきまき

ちかちか 中ふちハニツ十二

からちかちか せんじゆのまきまき

せんじゆのまきまき

いさぎよのせんじゆのまきまき

いさ川 山本村

○たごんごつのおくらおびり

おししつごつのおくらおびり

おしつごつのおくらおびり

せんじゆのまきまき

同 同郡

紫雲山 中山寺

なまごころのせんじゆのまきまき

さくごころのせんじゆのまきまき

せんじゆのまきまき

せんじゆのまきまき

しもづきと云ふ一おとんまじき
そのは判る 清らなるおとす

中やまがらうじか、二う

るあじかたあがらう、二う

たよがらうかさんど、十八

さん田よやう一、一う

やうまが可也、十八

くし、あはの、一う

あいのふまらび、一う

まらびの清あ、一う

○元五むん、ちりまめきうの
わくれ、わあまらるまがらあをく
らふか、あふらふまらる

備前 美作郡

御嶽山清水寺

いそふふ人二可せん、あは河の事

いそ 寛治九年 元長上人のふき、あは
七子にむすむ 五言 宗室 藤原 宗子

さよふの川がけし川、一う

くし川村がむまぜ、一う

むまぜがそらめ社、二う

そらめ社がめし、一、五五

めし、あむんあ、五五

あむんの川あらう、あは乃

あむんあ、あつげふ、二う

○元五むん、ちりまめきうの
わくれ、わあまらるまがらあをく
らふか、あふらふまらる

同 西郡

法華山一系寺

いそふふ人二可せん、あは河の事

徳和元年法皇上人建立
寺に在り初名向 寺字ふ、二り

法皇ふそそね、二り

うつら津やね、二り此れ村をぬね

二ね ちしあち、二り

あしひのあつ、あ村、ち川

二ねんぢいあよあね、二り

えん川 ねむ村

○廿七日ん、より南のあよあねで

ほろくこのほれ、あよ、あめふあし

まゆめあ、まきしん、あ、あ、あ

河内 西郡

書真山園 教寺

いそつ、二り、あ、あ、あ、あ、あ

あまのさく、二り、あ、あ、あ、あ、あ

年性、あ、あ、あ、あ、あ

寺に在り、あ、あ、あ、あ、あ

成お寺、二り

あよ、あ、あ、あ、あ

川あり

あし、あ、あ、あ、あ

ま、あ、あ、あ、あ

小坂あり

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

二り、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

二り、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

いづれが竹田、一丁
とある川を

竹田、やまを、一丁

とある川を、やまのせ、一丁

金を、とある川、一丁

いづれが川を

くろ、とある川、一丁

九、とある川、一丁

いづれが川を

を、とある川、一丁

名、とある川、一丁

いづれが川を、一丁

小、とある川、一丁

○太、とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

丹波と新郡

世野山成相寺

いづれが川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

和、とある川、一丁

成、とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

とある川、一丁

あゝる大川を

中山がたきぐ、ニウ

あゝるがいらを、ニウ

あゝるがまのが、ニウ

○北九でんたんとのまあのおどろ
そのうと、いつくはあ、んだまのどろ
ちとせ強こふまのれ乃ろ

若狭 鴻浦

ね 尾 寺

かき三三のをとり其基のゆく

一とたにや威光上人とて五平の

するにや奉向 竹せ鶴く十九りす

ねの尾のさるを、ニウ

さるを、尼がう、ニウ

これよりねを、あまの。

なやうのふぶを、ニウ

かゝる世をが

かゝるがあら、ニウ

ふめの川 せり

あやうのひくさ、ニウ

おしるし川を

おしるさふま川、ニウ

ふま川をふま、ニウ

ふ中をあら、ニウ

ふふねにんおる川、ニウ

あう飯をんろ、ニウ

えろのたは、ニウ

石田川あきらハ川下にろくさ

おしるのたは、ニウ

○三十でんああめらうくが、ニウ

あし甲のああめらうくが、ニウ

あなれあうとせむらせよ

河川 浅井郡
竹生鴻本業寺

おろすにんぶのり基のうく月
ふいきのり武平天平二年う
えんき寺いふるに面南向

竹生鴻がそを寺といふ倍く

○廿一をん二あつこのらやうわいト
八ふとやなをまぎにちがさつりめらぎ
はこぎ何ものめががしうろもん
日蒲下郡

今龜山長冬下寺

おろすここのあつらえんおんあつら
そよの作推古寺在七年に武内
大臣えんき寺七方に面南向

そを寺といふ倍く

長命寺の八まんふ、一うす

これよりおれおりてすし

八まんふのそを寺といふ

○廿二をん二あつこのらやうわいト
つしとやいふらびきまけんおんト
と成さくふらうそらぶあめこと

日井傍郡

観音寺

おろすここのせんがめあつらうとくを子
こく日しこんを推古帝いさうこ
寺いふるに面南向と成音寺石
天長寺

おろすここのせんがめあつらう、一うす

忍川あり

忍川あり

このる川あり

おろすここのせんがめあつらう、一うす

ちりしよをんを、うま
はりのこり洋

をんをよさわぐい、一う

さわぐい、一う、一う、一う

か、一う、一う、一う、一う

か、一う、一う、一う、一う

さき、一う、一う、一う、一う

このふに、一う、一う、一う、一う

たう、一う、一う、一う、一う

あ、一う、一う、一う、一う

く、一う、一う、一う、一う

あ、一う、一う、一う、一う

あ、一う、一う、一う、一う

○世、一う、一う、一う、一う

あ、一う、一う、一う、一う

美濃国

善波山華嚴寺

な、一う、一う、一う、一う

あ、一う、一う、一う、一う

え、一う、一う、一う、一う

那智山善波と

合二百五拾里

善波分、一う、一う、一う、一う

合百回里十八町

善波分、一う、一う、一う、一う

合九折七里十八町

若波分俵方の田を

合三折七里

俵波分順礼八鬼の段

一回分田を、一町

たまり分を、一町

もせとのつれたるも、一町

もせのつれたるも、一町

先河まき

お平がせのつれたるも、一町

入口小川を、一町

とら原分あを、一町

あを分、一町

もせ分の、一町

もせ川、一町

の、一町

もせ

あを分、一町

川を、一町

つ、一町

川、一町

さ、一町

川、一町

こ、一町

も、一町

ま、一町

小川、一町

大、一町

せし海がらんうらへ、二り
 これよりむらうらふまに死にまの
 りし、十なりあふれりてうら
 りのるんがたえうらうら
 えんうらうらむせ、一り
 えんうらうら
 りのるん川を
 むせがこのな、一り
 りのるん川を

このながおろし、一り
 川三つを大水の海は、まごせ坂
 おろし、かんき、一り
 川二つを大水の海は、八きの上、一り
 みた、かそね、一り
 みらうらそね、かたれ、一り
 そね、か二き、一り
 そね、か二き、一り
 そね、か二き、一り

二き、海があらう、一り
 一り川、大うら坂
 つらうら、かそね、一り
 りのるん坂あり
 そね、か二き、一り
 りのるん坂あり
 大い海があらう、一り
 川あり、坂あり
 このながあらう、一り
 あり、海があらう、一り
 志ら川、先一本川、大い、一り
 つらうら、かそね、一り
 あらう、川、海は、一り
 りのるん、一り
 りのるん、一り
 りのるん、一り

うぐいふを海の水 五十二
小づし流大づし流 坂二つを
この海の水をあらう、五十二
二の川にこの水をいそいで下るよ
十八丁あり

山田分那者五

合三橋九里十八丁

西國唯礼化

秩父順礼化

○そし海、志まぶあゝんおんド
わいごしやれまはるゝぬれりの花
くすへあまぶあゝんおんド
に万歌好音寺
なそ一入三寸のまゝ一々ん
おんぎやうぎめさく

大あき、九十二丁あり
らあわびご川あり

○二番、大たきのあゝんおんド
先分ききためいさかけ一、大たきの
ちうひもつれきふごあめ

大柳正林寺

なそ一入三寸のまゝ一々ん
おんぎやうぎめさく

いこりし、 廿四丁九四号

○之末、いこりしめせんと
なすくやいこりしでいこりし
んしのみまふせむぐたきつせ
若本浄泉寺

いそり二尺一寸あきめ
いれぎやうきめさく

あしは、 十三丁廿号

○之末、あきめきんを
あさふまふてながびんせん
二世あいらとたれいめん
荒木寺

いそり三尺一寸の十一
いれりきめさく

こが、 十二丁十号

○あき、こがのせと

いそり九寸あきめあき
大トたいひめらふあ

二寺

いそり九寸あきめあき
いれりきめさく

あきめさく、 十一丁十号

○之末、あきめさく
あきめさくむすあきめ
あきめさく

東向寺

いそり一尺二寸のあき
いれりきめさく

あしは、 十一丁十号

○之末、あしはのあき
あしはのあきめさく
あしはのあきめさく

半伏保長寺

おさる一丈二寸五分の十一巻ん
らんおんぎんぐらぶさく

おんぎんぐらぶ、十丁ある

○八巻、おんぎんぐらぶ

おんぎんぐらぶのたまごめ花のさくせんト
きしんぐらぶらんぐらぶのさくせん

西善寺

おさる九寸の十一巻んらん
おんでんぎんぐらぶのさく

あけち、十三丁ある

○九巻、あけち

おんぎんぐらぶのたまごめ花のさくせんト
らんぐらぶらんぐらぶのさくせん

明善寺

おさる八寸五分の十一巻んらん

らんらんらんらんらんらんらん

おんぎんぐらぶ、十九丁ある

○十巻、だいてい

おんぎんぐらぶのたまごめ花のさくせんト
らんぐらぶらんぐらぶのさくせん

大善寺

おさる一丈三寸の十一巻んらん
らんらんらんらんらんらんらん

おんぎんぐらぶ、七丁ある

○十一巻、おんぎんぐらぶ

おんぎんぐらぶのたまごめ花のさくせんト
らんぐらぶらんぐらぶのさくせん

板橋寺

おさる一丈一寸五分の十一巻んらん
らんらんらんらんらんらんらん

おんぎんぐらぶ、九丁ある

○十二番、のさうでし
れ、のさうでし、のさうでし、のさうでし
い、海辺のひまをきつ、ちよろえら
跡、坂寺

なすの五寸の高さ、うらんおん
と、ちよろえら、のさうでし

をけの下、六丁六八

○十五番、のさうでし、のさうでし、
みてふく、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
をけの下、のさうでし、

善眼寺

なすの五寸の高さ、うらんおん
と、ちよろえら、のさうでし

をけの下、六丁六八

○十六番、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、

今宮寺

なすの五寸の高さ、うらんおん
と、ちよろえら、のさうでし

をけの下、六丁六八

○十七番、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、

止蔵福寺

なすの五寸の高さ、うらんおん
と、ちよろえら、のさうでし

をけの下、六丁六八

○十八番、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、
のさうでし、のさうでし、のさうでし、

西光寺

なる九寸のせんちめん
おんらんけいめい

とや一七、七十四

○十七むん、とや一七
あましとや一七、とや一七

常林寺

とや一七、とや一七
おんらんけいめい

かうどち、十七

○十八むん、かうどち

ぬだめとや一七、とや一七
かうどち、とや一七

神門寺

とや一七、とや一七
おんらんけいめい

とや一七、とや一七
おんらんけいめい

とや一七、とや一七

○十九むん、とや一七

あましとや一七、とや一七
とや一七、とや一七

新石寺

とや一七、とや一七
おんらんけいめい

とや一七、とや一七

とや一七、とや一七

○二十むん、とや一七

とや一七、とや一七
とや一七、とや一七

新上寺

とや一七、とや一七
とや一七、とや一七

おんきやうとく太子のこく

金のたゞし、あてなる

○古一ぬがのたゞしをんかんド
あつとむらむのたゞしまあでさて
縁ふいし、のりあむるうたし

観音寺

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

こころをさし、おてはる

○古二をん、こころをさし

こころをさし、おてはる
おんきやうとく太子のこく

臺堂

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

おんきやうとく太子のこく

○古三ぬがのたゞしをんかんド

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

藥子喜寺

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

おんきやうとく太子のこく

○古四ぬがのたゞしをんかんド

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

法泉寺

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

おんきやうとく太子のこく

○古五ぬがのたゞしをんかんド

おんきやうとく太子のこく
おんきやうとく太子のこく

あさひしんまへゆめうさく
久那親善寺

おきよ一八日寺のあまうけん
おんきんきよのさく

下うけりり、十二ある
そのあつふ川有うらふいり

○古六あま下うけりりおんあまう
あづみりむまきあまのいあだう
こうろのあつさまていぬいさく

岩谷堂

おきよあま七方のあまうけん
おんあまけん傍のさく

上うけりり、十二ある

○廿七あま上うけりりおんあま
まのあまやあまきあまのいあま
こうろあまてあまあまうけりり

大園寺

おきよあま二十七方のあま
おんあまけん傍のさく

おしだて、十二ある

○廿八あま、おしだて

おきよあまたらあまうけんあま
あまいあまのいあまうけん

橋立寺

おきよ七方のあまけん
おんあまけん傍のさく

さしめと、十二ある

○廿九あま、さしめと

おきよあまあまのいあま
おしだてあまのいあま

普賢観音寺

おきよ二人のあまけん

志忠大一のさく
このふまのげんげんぢもんね
改くあまの石れあり

ふりきふ、二一

○三十歳、あだちやうらんど
ふふなむけんおんこまあれハ
あひやうだふめらひなひり

室、せし寺

いその一尺二寸のゆよめろん親
おんまのげんそんまていの作

ふしめ、いさや、二一廿二

○廿一歳、ころめつや
ふふぢやあまのけはつひぢりたれハ

りしめ、いさやふぢくたまはせ

乾野岩、寺

あまの一尺八寸のまきうけん

きやうぶのさく

ちんぶや、二一廿一

○廿二歳、まんぶのやうせうと
孫うくいんぶあめひふのまき

いさやのほほしうけんがきく

法生寺

いそ、おんまのまきうけんおん
け基帯れさく

つらけ、一う五下

○廿三歳、あつげのまきと
まきあまのまきうけんせうせうと
あつげのまきあつげ

葉水寺

いそ、おんまのせんまきうけん
おんまのまきのさく

ふりきふ、二一

○世に世にあんづるに世にせん
まのよみ録に世にせんわわ
こけれきまのまのまのまの
水泉寺

本まの二のせんまのまの
せんまのまのまのまの

江戸か江戸か江戸

日なまのまのまの
板まのまのまの
ゆのまのまの
白子まのまの

むさねのまのまの
大りのまのまの
大井のまのまの
くまのまのまの
まのまのまのまの
まのまのまのまの
かまのまのまの
やまのまのまの
坂下まのまの

江戸か江戸か
合二格三里

江戸か江戸か

合の指書三十四卷

秩父の秩記

坂東順礼記

○きんぎょのすねりて
たのめあつたるなりとて
らうひらき一のあつしう

お川謙倉

大蔵山抄本寺

なまきまの土をうん
ぎんぎんぎんぎん
開山其基中興
四重幸向天香宗

らたこまあり川

○二ごんさぎの

ならうりてあはれ
かたけさかむも

月三浦

海峯山岩殿寺

なまの二六の十二重り基の地を
二つに重なる向用山志あるを
和
る様ふふち取丑ね

回一八十八

こみろふまのこへねま

○こむんこさうこめた一うで
ん本もしたさくらみ田代
よこのぶつなめりこそスー
き

月三浦

白岩山田代寺

なまの二六の十二重り基の地を
二つに重なる向用山志あるを
和
る様ふふち取丑ね

回一八十八

つががわ八まんま、十丁有

○にむんこさうこめた一うで
ん本もしたさくらみ田代
よこのぶつなめりこそスー
き

月三浦

海光山長音寺

なまの二六の十二重り基の地を
二つに重なる向用山志あるを
和
る様ふふち取丑ね

回一八十八

こみろふまのこへねま

○にむんこさうこめた一うで

ん本もしたさくらみ田代

よこのぶつなめりこそスー

き

回一八十八

○七ぞんいんがういぬうまひ
ぢいしむらひらまひぬらんせぢん
二世あんらくとなれうめらん

同大住部
今目山光院寺

ふさふさ人等のせんじありま
のこく考はまろしちる幸向天台
ふさふさ十二ねいひすまゝ、

うまひかちんげ、
まろし村も坂村かちる

かちんげかちんげ、
田の中おちた有十丁がら

○ふざんいんがういぬうまひ
まろねばはまろいぬうまひ
かちんげかちんげ、

月足柄部

飯泉山晴福寺

ふさふさ二人いすの十面ひまろ
まろさくまろいぬうまひ
まろいぬうまひ、

飯泉かそが、
そがかいぬらち、

川あり飯泉るんわこ

いぬらちか十日あま、
十日あまかこのげ、

このげか大ら、
大ま、さうたあんまよ

大らかひまろ、
このまろまろいぬうまひ

ひまろか、
○ふざんいんがういぬうまひ
まろいぬうまひ、

つりあひおどくねをぬおどく

同中、甲部

飯上山長音寺

なまの二入三寸の十二めんり奉作

寺ハ五入のめん奉向せの音宗

ち飲云ね 卯のやハ二ウ

いぢまクあつぎハ二ウサ

あつぎクやハ二ウサ

川あり海は一ぢびをすうぢり

○八もんこさうごのやハ二ウ

えつちあつ海もくせもくせもくせ

日ありあつちふぢぢぢぢハ二ウ

妙法蓮華寺

なまの二入三寸のちやハ二ウ

奉作のめん奉向せの音宗

書宗ち飲云ね奉作ハ二ウ

卯のやハ二ウ

系ハ二ウ村たいま村ハ二ウ

ちやハ二ウ

むさハ二ウ

ハ二ウ

たむハ二ウ

ハ二ウ

奉作ハ二ウ

ハ二ウ

あハ二ウ

うハ二ウ

ちハ二ウ

りハ二ウ

おハ二ウ

めつち村ハ二ウ

○九だんごあつちあつちのり
きくくふたじへびのあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

本州比止郡

那波山慈光寺

おきつ八天の寺のせんどあり
寺の二つにえん東向天台宗の
石石

慈光寺のあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

○十だんごあつちのり
ちうひもどしふあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

日
岩殿山法華寺

おきつ二八七の寺のせんどあり

の依止は玉子岩の寺のせんどあり
ちうひもどしふあつちのり

いさかあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

○十一だんごあつちのり

ちうひもどしふあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

同按え那
岩殿山安楽寺

おきつ八天の寺のせんどあり
ちうひもどしふあつちのり

おきつ八天の寺のせんどあり

ちうひもどしふあつちのり
ちうひもどしふあつちのり

ちうひもどしふあつちのり

たきかこむろ、
こむろかこむろ、
志守か志守、
十八丁

○十二丁、志守、志守、
志守、志守、志守、
志守、志守、志守、

同右附
北林山志守寺

いきせん、ゆきせん、
さく、さく、
志守、志守、

志守、志守、
志守、志守、
志守、志守、

志守、志守、
志守、志守、
志守、志守、

せん、ゆき、

○十二丁、志守、
志守、志守、
志守、志守、

日、
金龍山志守寺

い、い、
志守、志守、
志守、志守、

志守、志守、
志守、志守、
志守、志守、

志守、志守、
志守、志守、
志守、志守、

○十二丁、志守、

くさびはきりぬけせけんしん
あまがささうらにんせく
日久良伎郡
福徳山弘明寺

ふきいふ余のしめんきんき

のきくせは五万石んきんき

まきまき松若石のしんきん

東海五万石のしんきん

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

あまがささうらにんせく

白石山長光寺

寺名 白石山長光寺
山名 白石山
所在 長光寺

寺のりきいありぬけた有るの寺村
系乃く山川十二ヶ所有る

○十ヶ所いよとあるこが川
あつらふこつちきいふたつたつたの
ありきねぶさうらをうれき

同郡馬郡

五徳山水に在り

なほ二寸ばかりせりぬれが山に
あつらふ後身いさき寺八七ヶ所は
南向天香宗ち銀五石

山名 五徳山

水さじとがせでい、二り

のざ、か大らが八ヶ所

大らが八ヶ所あや、二り

こつちやまきいふく、二り

その川あつらふ、二り

まきいふか二のまや、二り

二のまやか大ら、二り

りたの山川有

大ら、か丸山、二り

丸山、山の神村、あつらふ

丸山、か足が、二り

りたの山川あつらふ、二り

足が、かあつらふ、二り

あつらふ、かあつらふ、二り

あつらふ、かあつらふ、二り

あつらふ、かあつらふ、二り

あつらふ、かあつらふ、二り

たぬサメケガ 下り
たむ川

くばかふづろ、二り
小坂ありまん

○十七をん、まもはけいぼく
あつしとくく、これらいつ

コダレ、まへハツづくろまん
下世依世

か流山海歌集

いそせんとてん、まのさく
大白のつや大峠のつや

のつん、まの、ぜんハ東向ハ
叶、十をん、まの、まの、

いつろあり、十八をん、まの、
まの、これら、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

たぬサメケガ 下り
たむ川

くばかふづろ、二り
小坂ありまん

○十七をん、まもはけいぼく
あつしとくく、これらいつ

コダレ、まへハツづくろまん
下世依世

か流山海歌集

いそせんとてん、まのさく
大白のつや大峠のつや

のつん、まの、ぜんハ東向ハ
叶、十をん、まの、まの、

いつろあり、十八をん、まの、
まの、これら、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

まの、まの、まの、

これより十八日申祥寺、十一日

大坂、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

同月、寺、寺、寺、寺、寺、寺

大田家分くらもひの二つ
川ありうたこ

くらもひのづき、二つ

これより川と二つありたきんを
うんげんといふうたこ

のづきからうんげん二つ

うんげん二つ川上、二つ

川上かやこぞ、二つ

このふたたきんをこ

○古一たん、をさらのなごぞ

まゝあがきつゝいざぞまゝつゝまて

かゝひぬいりつゝあゝわく

常川

八溝山月輪寺

なると其八寸の二つきんぶうくの依

寺は又る世も南に向て七つ七ね

おくのつん八十のな依竹(十八)

なごぞかくらさよ、二つ

くらさよ下のい、二つ

下のい、二つ

川ありうたこなごぞ

なごのい、二つ

こまませかま、二つ

ま、二つ

けのい、二つ

まらふかたけ、二つ

○おふんはひらのさたけで
ひのふらよとあつたけで
うたこくきふるも

同天非村

お福山依竹寺

おさよと二分の十一めんそ一の依

高寺に五層塔を築き東向を尊ぶ
る故八石 一とま、十一とま

ささげがあら、二とま

ととがたどつ、二とま

大だつ、かつとま、二とま

杖は細村をきつて京

○大とん、いはちのさしち
くろく、のかりてかむさし、あま
しはくせぬ、あまを乃か

同かまろ

佐伯山正福寺

本寺一丈六寸のせし、あまをう

まのこく、あま、あま、あま、あま

さ、あま、あま、あま、あま

つ、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

十一

下は左列のさし、あま、あま

○二十とん、あま、あま、あま、あま

さ、あま、あま、あま、あま

つ、あま、あま、あま、あま

下は、あま

傳鉢山西明寺

本寺、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

○大とん、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

あ、あま、あま、あま、あま

常所、あま、あま

雨引山系法寺

ふさふさ二人の多んねいそく
まもる士のかきかきかきかきかき
まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

○九女をんいひくらめつくば

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

同洗波

洗波の志屋院

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

○たぶをんいひくらめつくば

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

同洗波

南明の清龍寺

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

これよりたぶをんいひくらめつくば

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

まもるまもるまもるまもるまもる

あつたはなをあらわし、二、三、
川ありありと、くまの村、新川
ありと、くまの川、ありと、

○大八、おん、おん、おん、の、あ、り、川、
あ、り、と、く、ま、の、川、あ、り、と、く、ま、の、川、
あ、り、と、く、ま、の、川、あ、り、と、く、ま、の、川、

下後、香、五、部、
滑河、山、勝、福、寺、

おん、一、大、二、人の、十一、人、下、り、の、
さ、く、け、い、う、ち、の、さ、く、け、い、う、ち、
儀、中、お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

飯、飯、一、五、一、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、お、お、

まじしあゝいむ浪の邦しえれ
下後海子

飯沼山資福寺

飯沼山資福寺の土著人昔はあつ
たやんし向ふとてんふち殿二十ね
らまてしん十八ね

飯沼 今とていふ、二つ

とていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

らまていふ、今とていふ、二つ

このるく、今とていふ、二つ

いふちを、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

このるく、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

このるく、今とていふ、二つ

つとていふ、今とていふ、二つ

○九九のん、今とていふ、二つ

らまていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

川子葉郡

海照山子葉寺

海照山子葉寺の土著人昔はあつ
たやんし向ふとてんふち殿二十ね
らまていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

らまていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

らまていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

らまていふ、今とていふ、二つ

まていふ、今とていふ、二つ

らき村、くうん、たどせり

あまのこまなつてら、こま

あつれらかうさり、こま

○世ごん、くまのうさり

ひらう、あつてら、たはづ

ころた、あつてら、あつてら

上 長柄郡

大悲心立木塚寺

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

はる川をめぐり

○世ごん、くまのうさり

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

月鴨森村

音羽の清水寺

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

あまの七天寺の土老んでんごまの

小豆島のあまのこ、こ
この島は有

ついでに、さしあふ、こ
この島は有

きよしんぶとあまのこ、こ

とあまのこ、さしあふ、こ

まへつとあまのこ、こ

あまのこ、さしあふ、こ

さしあふ、こ

あまのこ、さしあふ、こ

らとあまのこ

○世にむん、あまのこ、さしあふ、こ
あまのこ、さしあふ、こ

きしとあまのこ、さしあふ、こ

房州那古村

補陀の那古寺

おそろのせんとあまのこ、さしあふ、こ
あまのこ、さしあふ、こ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

らとあまのこ

さしあふ、こ

らとあまのこ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

○三十むん、さしあふ、こ

さしあふ、こ

さしあふ、こ

上総国

